



思い出すままに

日本女子テニス連盟秋田県支部初代支部長

三浦 トシ

女子連15周年おめでとうございます。歳月の流れの早さに驚いています。

女性のスポーツ活動が盛んとなったあの頃、中でもテニスは大変なブームで秋田でもプレーヤーが急増。特に家庭主婦のテニス人口が伸び、女性中心の団体が必要となり昭和54年「秋田県女子テニス連盟」を発足させ更に県女子テニスの底辺拡大・テニスのレベルアップを願い昭和56年5月「日本女子テニス連盟秋田県支部」として全国組織に加入しました。大会企画・運営・テニススクール実施など集まっては議論し知恵を出し合い無我無中。ホットする間もなく次の目標達成へと全員がんばったことが今懐かしく思い出されます。初心者で何もわからぬ私が初代会長・支部長をお引受してしまい「盲蛇に怖じず」何と身の程知らずであったかと恥じておりますが、テニス、お人柄、能力すべて、ハイレベルの役員皆様のお力と、温かいお心の励ましに支えられたからこそ創立期が乗りきれたのだと唯感謝あるのみです。

鮮明に思い浮ぶことは朝日レディース全国大会前夜祭で秋田県支部の結成が披露され、選手全員で支部旗を受けたこと、強豪の県と府を破り3回戦に進出し好プレーを展開し優勝も夢ではないと興奮し、電話を待ち続けたこと。第6回朝日レディー大会のポスター・大会要領の表紙を飾ったプレーヤーは凜しい杉山恵美子氏だったこと。日本テニス協会60周年記念祝賀会で、皇太子殿下・妃殿下御臨席のもと、桑名寿枝子会長がお礼と抱負を述べられた明るいお声や鳴り止まぬ拍手。楽しくお和やかな雰囲気^{ゆうげ}で日本を代表する方々と共に感激の夕。テニスを通して多くの素晴らしい友を得親睦・交流を深めたこと。すべて私にとって最高の宝物です。

未熟でも今なおテニスを楽しめる幸せ。高齢を健やかに生きる意欲を与えて下さったことにお礼と感謝を申し上げるとともに、女子テニス連盟秋田県支部のますますの発展と御活躍、会員のお幸せを心から祈念いたします。